

発行所

曹洞宗宮城県宗務所

仙台市泉区市名坂字檜町169-4

TEL 022(218)3801

FAX 022(218)3803

e-mail:sotou-miyagi@road.ocn.ne.jp

発行者 所長 小野崎 秀通

宮城県宗務所報



(普門山 洞泉院)



ご挨拶

曹洞宗宮城県宗務所長

小野崎 秀通

管内寺院諸老師におかれましては、ご健勝に接化の事とお慶び申し上げます。

日頃、宗門護持と宗務所行事にご協力ご支援を賜り篤く御礼申し上げます。

本年も数ある行事の中で、七月十一日に曹洞宗管長猥下を迎え、檀信徒集会が開催されます事は、大変得がたいご法縁であり、曹洞宗の教えを伝え、檀信徒の誇りを感じて頂ければ幸いと存じます。

現代社会は、宗教の稀薄化が進んでいる事を、最近寺の行事を通じても強く感じるようになってきました。

僧侶でありジャーナリストの鵜飼秀徳氏は、「我々はコンビニほど、寺を必要としているだろうか。都会に住んでいれば、あまり寺を意識して生活することは少ない。生活レベルが保たれ、幸福が得られるのであれば、どこに仏教を求める理由があるだろう。」と。更に「気付けば『死後』は、誰でも買える。時代になっていく。葬儀社に電話一本すれば、お墓の面倒までみてくれる。数年前から僧侶専門の人材派遣会社が存在し、依頼者と僧侶とは一回限りの関係で、後の寺檀関係を持たない。」な

どと指摘しています。

こうした問題は、家の継承者が少なくなっている事と、それに伴う過疎化が進んでいる問題が大きな原因でありましょう。

政府は、「地方創生」をスローガンに地方活性化や人口減対策をしていると言うが、都市部への一極集中は止まりません。

こうした中で、寺院の統合、廃寺は避けられない現実となっています。

コンビニは競争の激しい中で、フランチャイズ経営士講座を常に関し、能力向上を目指し、失敗店を作らないためのセミナーが行われていると言います。

これからの地方寺院は強力な教化活動と経営努力が必定であります。必要とされる寺院となる為には、まず学ぶ姿勢が大切でしょう。

幸い宗門は『修証義』の「四大綱領」の教えがあり、その「四大綱領」を徹底布行すれば、教化が行渡るようにまとめられております。

宗門人として「身心を決択するに自から両般あり、参師聞法と工夫坐禅となり」と高祖道元禅師のお示しを実現したいものです。

平成二十九年年度第二回現職研修会

平成三十年三月二十二日〜二十三日 於ホテルニュー水戸屋

『つながりについて』 『世間』の中の僧侶と寺院』 を受講して

第八教区 皆傳寺徒弟

天野 宏心



この度は現職研修会に出席させていただきまして、秋田県で自死問題に長年取り組まれている袴田俊英老師のご講義『つながりについて』「世間」の中の僧侶と寺院』を拝聴いたしました。

全国で最も自死率の高い秋田県、その中でも特に高い藤里町で、袴田師は一般的にタブーとされる事の多い自死の問題に真っ向から取り組んでおられます。まず着目されたのは長らく自死の問題は「個人」の問題として扱われ、社会構造の視点からはあまり省みられなかったということでした。

そもそも日本の伝統的な農村は、人間関係が様々な形で相互依存的であったこと、冠婚葬祭や日々の労働の報酬が必ずしも金銭の授受ではなく、持ちつ持たれつ助け合いの関係に重きが置かれていた

こと等、それが世間という人々のつながりを築いていたことを解りやすくご教示下さいました。

戦後の急激な高度経済成長による農村社会の変化。資本主義の浸透や現金収入への変化などで、相互依存という世間から離れはじめた農村社会は、資本主義と拝金主義の最末端に身を委ねました。労働力を首都圏に供給しつつ弱体化し、結果的に人的にも精神的にも消費されてしまったということが、師のお話から痛切に伝わって参りました。そして世間のつながりから孤立し始めた人々はその極限の縁で自死に追いやられたという師のご洞察に深く頷かされました。

このような孤立と自死の負の連鎖に楔を打ち込むべく、二十年ほど前から週に一度のペースで喫茶サロン「よつてたもれ」を開催され、町の人々につな



がりの場を作っておられます。その後、赤ちようちゃん「よつてたもれ」という居酒屋版も開催され、何としても孤

立を防ぎたいという師のご意志に敬服いたしました。

師はアジール＝聖庇という言葉も使われました。社会的弱者を護るまさに駆け込み寺のことだそうです。僧侶は経済的弱者、様々な差別に苦しむ人々を受け入れ寄り添うアジールたるべきとの師のご見解に、身の引き締まる思いが致しました。

「続・坐禅会を始めるために 曹洞宗の坐禅観」

第二十一教区 活牛寺住職

菅原 一芳



現在、仏教を学ぶ道は数多くあります。国内外の研究資料や書籍を手に入れることができ、ネットには関連のテキストや動画の多くを見る事ができます。中でも外国語を翻訳した平易な言葉で綴られた瞑想の解説書などは、私にとつて魅力的にうつりました。坐禅会にて人に教える立場にあったこともあり、坐禅とは何か、という修行中にはなかった疑問が出てきました。そのような自分の中の坐禅観が揺れ動く中、それを見つめ直

す良い機会を頂きました。

今巷で耳にするようになったヴィパッサナー瞑想は天台宗では修行の一部である止観に分類され、マインドフルネスはアメリカの研究でジョン・カバット・ジンにより逆輸入的にもたらされた精神安定の方法であると学びました。「それは道元禪師の坐禅と位相を異にする」と明確にされたことは、有り難いことでありました。しかし、このように現職研修において取り上げられるということは、時代からの問いでもあると思います。

「そして社会の必要性に応えるという側面を重視して、ヴィパッサナーやマインドフルネスが応えていることに対して迎合し、坐禅を変質させてしまっているいけない」ともおっしゃっていました。

坐禅会に足を運ぶ人は、何か自分のためになることがあるのでは、という思いを持っていると想像します。その求める心を手放してただ坐りなさいと言え、芽吹いた種を抜くようなものだと指摘は講義の中でもふれられていました。三界



の法ではない坐禅と、あくまで僧侶ではない一般の方々を対象として行われる坐禅会においては、抜苦与楽の心を大切にしない



角田泰隆先生は私が駒澤大学在学中教鞭を執っておられました。あいにく在学中講義を受ける機会が無かったので、今回の現職研修での先生の講義を楽しみにしておりました。



第二教区 洞林寺副住職
吉田彦英

道元禅師の教えを 教化に活かす

がらもどのように運営していくかが問われているのだと思いました。坐禅の布教は歴史が浅く、これといった正解はないとの講師先生のことばから、只管打坐を心の旗印とし、それをもに参究していこうという坐禅会を行うために、試行錯誤していく大切さを確認しました。

講義テーマが「道元禅師の教えを教化にいかす」ということで我々、曹洞宗僧侶として非常に大事なテーマだと感じました。特に「坐禅」についての講義は印象深いものでした。「修行者は自

分自身の為に仏法を修行しようと思つてはならない。名誉や利益のために仏法を修行してはならない。果報を得るために仏法を修行してはならない。霊験を得るために修行してはならない」と道元禅師は『学道用心集』で説かれています。坐禅は何かを得るためではない「不為の坐禅」を心掛けるということ。一般の方々に坐禅を勧める為には、この教義をしつかり理解し、発信していく力が求められるのではないかと感じました。また道元禅師の教え十ヶ条においては、『正法眼蔵』や『正法眼蔵随聞記』等々の著書から抜粋した大事な教えを分かりやすく説明していただきました。印象に残ったのは執着についての話でした。「希望・願望・欲望」などの人間の思い通りにしたい気持ちと、「現実・生老病死」などの思い通りにならないことの差が大きくなるほど、人の苦しみは大きくなる。この苦しみを少なくするには、自己の希望・願望を少なくする必要があります。何を学ばなければいけません。図を用いて説明して頂いたため、檀信徒の方々への布教教化の際、図を用いられれば分かりやすく伝えることができるのではないかと感じました。

個人の考え、尊厳を尊重していく必要のある現代社会において、道元禅師の教えを分かりやすく、そして多くの方々を知ってもらおうような布教の仕方を考えていかなければならないと感じました。

《教化指導員の活動》

第二教区 教化指導員
林松院 副住職 三宅俊紀



二年間、教化指導員を務めさせていただき、本当にたくさん学ぶことができました。

本山修行を終えて、数年経ちますが、恥ずかしい話ですが正直なところ「布教」と言えるような活動をほとんどしておりませんでした。そんな私ですが、ありがたいことに教化指導員の役に就かせていただきました。

「教化」「布教」と言っても私に何ができるのだろうかと不安でした。教化指導員では「ビープレイブ」という演劇活動をしています。いじめをなくそうというテーマで、主に小学生を対象に演劇をしています。

布教の経験もなければ、演劇の経験もありませんでしたが、先輩方から演劇の経験がなくても大丈夫、みんな最初はそうだからとお誘いいただき、私にとっては小学校の学芸会以来の演劇に参加させていただきました。

想像以上の先輩方の本格的な演劇を目の当たりにし、さらに不安になりましたが、何度も丁寧に演劇指導をしていただきました。

セリフを覚えるのも大変でしたが、最初の壁は恥ずかしさです。声を出すのも体を動かすのも、正直、最初は恥ずかしいのです。しかし、先輩方の熱のある演技を見せていただくうちに、恥ずかしさも徐々に消え、本番を迎えることができました。

いざ、小学生を目の前に演劇をしてみると、とても好反応。

子供達の純粋な反応を見ると、何かしらのメッセージが伝わっているのかなと思えました。

「布教」というと難しく感じていましたが、演劇という手段でメッセージを伝えることはできたのかなと演劇活動を通して感じるようになりました。

今期も教化指導員を務めさせていただくことになりましたので、もう少し演劇を通じて「布教」を学びたいと思っております。

布教師協議会コーナー

布教師協議会研修会について

第十五教区 清水寺住職

酒井 禅悦

今回の講習は、シリーズ「各宗派のお葬儀を学ぶ」第三回『曹洞宗のお葬儀』と題して講師に新潟県 正壽寺住職 曹洞宗特派布教師 呉定明老師をお迎えして行われました。

私事ですが、住職という立場になって一年を過ぎたばかりで、細かなところや詳しい意味など分からないことばかりです。師匠からの教え、口伝、山法、今回の研修会で様々な疑問点が解けたように思います。その中でも一般の檀信



徒の方にもわかりやすい内容を紹介したいと思います。子どもの頃、霊柩車を見かけたとき親指を隠せなんて言われてま

せんでしたか？何故か意味も分からずに隠していた記憶があります。諸説あるとおもいますがそれは爪の間から魔（悪魔）が入るからだと思います。足袋から襪子に履き替えるのも同じような意味だとの解説に納得できました。また、清め塩など塩は様々な場所に使われます。習慣として「死の穢れ」を「清める」として会葬者に添えられてきていますが、仏教では生死は一つであり、葬儀はその「生」のなかで愛する者と必ず別れなければいけない（愛別離苦）を受け止めて自分をかえりみる儀式で、「死」を穢れとは考えません。

また、葬儀作法や法具の意味と、使い方についても、沢山講義頂きました。自ら作った法具も見せていただきました。

呉老師は、とある研修会デイスカッションの場（一つの課題）で長時間過ぎた最後の数分で解決案を提案されたという面白いお話もされておりました。その課題というのが「法號の付け方」についてでした。

生活の中の仏教語

「執着」

第九教区 桃源院住職 奥野 誠也 師

「執着」を広辞苑で調べると「強く心をひかれ、それにとらわれること」とあります。又仏教語大辞典（中村元編）によると「事物に固着して離れないこと、忘れずにいつも心に深く思うこと、とらわれ。握りこむ。しがみつく。にぎりこみ」という意味であり、仏教では修行の妨げになるものとして悪しき心の働き、苦しみが生まれる源としてとらえられております。

衣食住に対する執着は、私だつて無い事はない。いい着物を着て、美味しい物を食べて、立派な家に住み度いと思わぬ事は無いが、それぞれが出来ぬから、こんな処で甘んじて居る。

（夏目漱石『文士の生活』より）
「執着」は苦しみの源として捉えられています。しかし確かに言える事は、生きていく限りわたしたちの心は絶えず何かに執着しているということです。人は誰でも豊かでより良い生活を求めます。従って「執着」も考えようによっては「幸せ」になれるように「そして「不幸」にならないように」という人間の基本的な欲望に従っているのではないのでしょうか。

お金、地位、名誉、名声、成績、業績、夢、目標、愛する人、人づきあい、世間体、健康、長寿：私たちは確かに、自分が幸

せになる為に色々な物や事を求め、しかもそれにとらわれます。しかし自分の幸せに結びつくはずのこれらの要素もややもすると、それにとらわれ過ぎてしまい、まわりのことや他のことがまったく見えなくなつて、逆に不幸になつてしまう場合がよく見受けられます。

「私は〇〇がないから、幸せじゃない」と思い込んでしまうのは、幸せに執着していると言えるでしょう。

「私は△△がないから、不幸だ」と思い込んでしまうのも、不幸に執着していると言えるでしょう。私には、「幸せは、身近に、無数にありますよ」「悩みや問題があつても幸せに暮らすことはできますよ」というのが幸せになる考え方であり、幸・不幸に執着して苦しまないのではないかと思います。

「執着」しないとは、「望まない」「求めない」「ことではなく、望み過ぎない」「求め過ぎない」ということなのです。自分が望むもの（幸せ）を求めて努力するのは、とても良いことなのです。漱石のいう「こんな処で甘んじて居る」生活ということも丁度良いという人がいるかも知れませんがね。

人権コーナー

「人権学習 現地研修」



十九教区 正福寺 三宅 泰宏

去る五月十七日、登米市迫町にある国立療養所・東北新生園において、人権擁護推進委員会委員十六名が参加した、平成三十年度人権学習現地研修会が開催されました。

東北新生園は、全国に十三ヶ所ある国立の療養所のひとつで、約三十五万平方メートルの自然豊かで閑静な敷地にあり、現在、六十五名の入所者が生活しています。

午後一時、園内のさくらホールで開会の挨拶の後、霊安堂において、小野崎宗務所長老師を導師に、人権擁護推進委員による物故者供養が厳修されました。



午後二時、さくらホールに戻り、入所者代表の久保瑛二氏による講話がありました。久保氏からは、



十代の頃の新生園に入所するに至ったいきさつ、病気の苦労、無知と偏見から来る謂れのない差別、また、理解のある地元地域の皆さんとの交流など、当事者からでしか聞くことのできない貴重なお話を頂きました。

午後三時、新生園の園内視察と「しんせい資料館」の見学をさせて頂いた後、人権主事による全国人権擁護推進主事研修会の報告を受けて閉会となりました。

最後に、貴重な研修会を受けさせて頂いたことに感謝申し上げ、報告とさせて頂きます。

出典
国立療養所東北新生園ホームページ

「精進料理」

アスパラの胡麻衣

第十四教区

宗恵寺 副住職 長尾 靖樹



【材料】（四人分）

- アスパラ 7本
- 煮きり酒 大さじ3
- 胡麻ペースト 大さじ3
- 薄口醤油 小さじ3
- 砂糖 小さじ3

【作り方】

1 アスパラを茹でて氷水でよく冷やす。

2 胡麻ペーストを煮きり酒で伸ばす。

3 薄口醤油・砂糖を入れよく伸ばす。

4 アスパラを切って皿に盛り付け、胡麻衣をかける。



平成29年度曹洞宗宮城県宗務所事業報告（抜粋）

平成29年4月1日～平成30年3月31日

月	日	曜日	担当	内 容	摘 要
4	5	水	梅花	養成所初級	
	6	木	梅花	養成所上級	
	8	土	宗務所	休務（釈尊降誕会）	
	13	木	教化	布教委員会	
	19	火	宗務所	住職勲統祝賀会	新寺 清月記
	20	水	教化	婦人会総会	
25	火	管 区	東北管区護持会長会（26日迄）	ホテル千秋閣 岩手花巻温泉	
5	8	月	梅花	養成所初級	
	9	火	梅花	養成所上級	
	11	木	教化	寺族会総会（12日迄）	ホテルニュー水戸屋 秋保
	12	金	宗務所	監査会 28年度後期分	
	15	月	梅花	師範研修所	
	18	木	教化	青少年教化員会	
	23	火	宗務所	責任役員会・定例（決算）所会	宗務所二階
	24	水	梅花	梅花流全国奉詠大会：登壇日二日目（26日迄）	大本山永平寺 サンドーム福井 仙台サンブラザ
31	水	布教師会	布教師協議会総会		
6	1	木	教化	護持会総会・特派布教師連絡協議会	
	2	金	梅花	養成所初級	
	7	水	管 区	東北管区宗務所連絡協議会	江陽グランドホテル
	9	金	梅花	養成所上級	
	12	月	梅花	特派講習会（16日迄）	
	21	水	管 区	管区集会（22日迄）	ホテル千秋閣 岩手花巻温泉
	22	木	教化	宮宗連代表者会	
	26	月	青年会	ソフトボール大会（宗務所共催）	富谷総合運動公園
	27	火	教化	特派布教師巡回布教（30日迄）	
	30	金	管 区	東北管区婦人会（28日迄）	秋田県大湯温泉「ホテル鹿角」
7	3	月	教化	第1回現職研修会（71名参加）	02-016林香院
	4	火	梅花	養成所初級	
	6	木	梅花	養成所上級	
	13	月	人 権	人権現地研修会（14日迄）	福島県(同慶寺・岩屋寺・長秀院)
	17	月	宗務所	所会運営委員会	
	18	火	梅花	師範研修所	
	25	火	宗務所	責任役員会・臨時所会	
8	2	水	センター	センター教化活動推進企画委員会（3日迄）	岩沼屋 秋保
	10	木	宗務所	盆休務（20日迄）	
	23	水	教化	徒弟研修会（4ヶ寺8名参加）	宗務所二階
	25	金	梅花	師範研修所	
9	1	金	宗務所	監査会 29年度前期分	
	4	月	宗務所	中国祖師仏教祖蹟研修会（8日迄）（20名参加）	黄梅・安国寺・葉山寺
	11	月	教化	寺族学習会	宗務所二階
	12	火	梅花	養成所合同	21-059清水寺
	13	水	教化	宮宗連常任代表者・常任幹事会	宗務所二階
	16	土	宗務所	青少年教化指導者研修会	
	20	水	宗務所	駐車場工事（松井建設様東北支店）（10月3日迄）	
	25	月	人 権	彼岸休務（26日迄）	
10	4	水	梅花	全国人権擁護推進主事研修会（27日迄）	曹洞宗宗務庁
	5	木	梅花	宮城県梅花流奉詠大会準備会	仙台サンブラザ
	10	火	梅花	宮城県梅花流奉詠大会	仙台サンブラザ
	11	火	梅花	養成所初級	
	10	火	庶務	保護司会総会	新寺 清月記
	11	水	管 区	東北管区役職員人権研修会（12日迄）	山形国際ホテル 山形市
	12	木	梅花	養成所上級	
	16	月	教化	護持会本山研修会（18日迄）・檀信徒集会拜請	大本山總持寺他
	20	金	梅花	師範研修所	
	24	火	宗務所	検定会	13-298法山寺
11	26	木	教化	東北実務担当者会議（25日迄）文化庁主催	岩手県 ホテル東日本盛岡
	27	金	梅花	寺族会理事会	
	1	水	梅花	検定会	17-427雙林寺
	6	月	教化	宮宗連研修旅行（2日迄）	02-016林香院
	7	火	梅花	養成所初級（検定）	新潟県 良寛の里
	7	火	梅花	養成所上級（検定）	宗務所
	9	木	教化	宮宗連研修会	新寺 浄土宗愚鈍院
	13	月	庶務	保護司会総会	曹洞宗宗務庁
	14	火	教化	全国婦人会（15日迄）	曹洞宗宗務庁
	28	火	管 区	東北管区布教講習会（29日迄）	メルパルク仙台
12	30	木	梅花	県大会反省会	新寺 清月記
	1	金	梅花	企画委員会	
	6	月	管 区	東北管区宗議会議員宗務所役職員連絡協議会（5日迄）	ホテルモンテレ仙台
	8	水	梅花	師範研修所・養成所合同一泊（7日迄）	ホテルニュー水戸屋 秋保
	8	金	宗務所	休務（釈尊成道会）	
	14	木	教区長会	教区長会	岩沼屋 秋保
	25	月	宗務所	年末年始休務（1月10日迄）	
	1	火	宗務所	休務	
1	22	月	人 権	災害対策委員会・後継者対策委員会	
	23	火	布教師会	布教師協議会研修会（24日迄）	ホテルニュー水戸屋 秋保
	25	木	宗務所	予備監査会	宗務所一階
	25	木	管 区	東北管区人権連絡協議会（26日迄）	北上市 ホテルシティプラザ北上
	29	月	梅花	評議員会	
	30	火	教化	婦人会新年研修会	仙台サンブラザ
	30	火	庶務	保護司会新年会	新寺 清月記
	31	水	布教師会	布教師養成所事前講習会	宗務所二階
2	5	月	梅花	所報第97号発行	
	6	火	教化	宗務所	
	8	木	梅花	養成所初級	
	13	火	教化	布教委員会	
	14	水	梅花	養成所上級	
	15	木	教化	寺族会研修会	宗務所二階
	15	木	梅花	師範研修所	
	15	木	宗務所	休務（釈尊涅槃会）	
	16	金	宗務所	所会運営委員会	宗務所二階
	19	月	教化	婦人会役員会	宗務所二階
3	22	木	教化	第2回現職研修会（23日迄）（91名参加）	ホテルニュー水戸屋 秋保
	23	金	宗務所	宗務所主催教区長会	ホテルニュー水戸屋 秋保
	28	水	梅花	特別講習会準備会	ホテルニュー水戸屋 秋保
	28	水	管 区	東北管区婦人会準備会	ホテルニュー水戸屋 秋保
	28	水	宗務庁	全国人権主事会議	大阪 新大阪ワシントンホテルプラザ
	28	水	宗務所	全国所長会	ホテルニュー水戸屋 秋保
3	1	木	梅花	特別講習会（2日迄）	曹洞宗宗務庁
	5	月	宗務所	実務担当者会議（7日迄）	曹洞宗宗務庁
	6	火	宗務所	人権擁護推進委員会	
	12	月	人 権	責任役員会・定例（予算）所会	
	13	火	宗務所	養成所初級（最終）	
	14	水	梅花	養成所上級（最終）	
	16	金	梅花	養成所上級（最終）	
	18	日	宗務所	彼岸休務（24日迄）	
	18	日	宗務所	青少年教化員会	
	29	木	梅花	次期養成所講師会議	

平成30年度曹洞宗宮城県宗務所事業計画（抜粋）

平成30年4月1日～平成31年3月31日

月	日	曜日	担当	内 容	摘 要
4	4	水	梅 花	養成所初級	
	5	木	梅 花	養成所上級	
	8	日	宗務所	休務（釈尊降誕会）	
	9	月	宗務所	住職勤続祝賀会	仙台新寺齋場清月記
	20	金	教 化	婦人会総会	宗務所2階講堂
	24	火	教 化	宗門護持会評議員会（25日迄） 所長・護持会長	曹洞宗檀信徒会館（東京グランドホテル）
	27	金	宗務所	監査会	
			教 化	布教委員会	
5	7	月	梅 花	師範研修所	
	9	水	宗務所	責任役員会・定例（決算）所会	
	10	木	教 化	寺族会総会（11日迄）	ホテルニュー水戸屋
	14	月	梅 花	養成所初級	
	15	火	梅 花	養成所上級	
	17	木	人 権	人権現地研修会	国立療養所東北新生園
	24	水	梅 花	梅花流全国奉詠大会（大会2日目・宮城県登壇日）	静岡市駿河区「このはなアリーナ」
	25	金	教 化	教化指導員会	
	31	木	管 区	東北管区宗務所連絡協議会（1日迄）	山形県第3宗務所
6	1	金	教 化	護持会総会・特派布教師連絡協議会	宗務所
	5	火	管 区	東北管区婦人会（6日迄）宮城県当番	ホテルニュー水戸屋
	6	水	青年会	宗務所共催ソフトボール大会	海岸公園野球場（蒲生）
	7	木	梅 花	養成所初級	
	8	金	梅 花	養成所上級	
	11	月	梅 花	特派講習会（15日迄）	
	25	月	教 化	特派布教師巡回布教（29日迄）	
	30	土	教 化	所報第98号発行	
7	3	火	梅 花	師範研修所	
	5	木	センター	東北管区青少年教化指導者研修会	モントレイ仙台
	10	火	宗務所	第4回檀信徒集会準備	仙台サンプラザホール
	11	水	センター	布教師特設検定会（11日迄）	秋田県
	11	水	宗務所	第4回檀信徒集会	仙台サンプラザホール
	13	金	梅 花	養成所初級	
	17	火	梅 花	養成所上級	
	18	水	管 区	東北管区人権三者協議会	岩手県 シティプラザ北上
8	10	金	宗務所	休務（盆20日迄）	
	24	金	教 化	徒弟研修会	宗務所
	27	月	梅 花	師範研修所	
	30	木	教 化	第1回現職研修会	
9	4	火	管 区	東北管区寺族会（5日迄）	岩手県 花巻温泉千秋閣
	13	木	梅 花	監査会	
	20	木	宗務所	養成所合同研修会	
	27	木	管 区	休務（秋彼岸26日迄）	
	27	木	管 区	東北管区役職員人権研修会（28日迄）	青森県 ホテル青森13時受付
10	2	火	人 権	全国人権主事研修会（4日迄）	宗務所主催
	3	水	梅 花	梅花流宮城県奉詠大会準備会	仙台サンプラザホール
	4	木	梅 花	梅花流宮城県奉詠大会	仙台サンプラザホール
	9	火	教 化	護持会本山研修会（11日迄）	大本山永平寺他
	10	水	梅 花	検定委員会	
	12	金	梅 花	養成所初級	
	17	水	梅 花	養成所上級	
	23	火	梅 花	師範研修所	
	23	火	梅 花	検定会①	
11	1	木	梅 花	検定会②	
	5	月	梅 花	養成所初級併設検定会	
	6	火	梅 花	養成所上級併設検定会	
	7	水	宗務所	梅花流宗務所講習会（9日迄）	2-16林香院
	14	水	梅 花	企画委員会	
	20	火	センター	東北管区布教講習会（21日迄）	モントレイ仙台
	27	火	梅 花	研修所・養成所合同一泊研修会（28日迄）	
	30	金	青年会	宮曹青50周年記念大会	仙台サンプラザホール
12	6	木	宗務所	所会運営委員会	
	8	土	宗務所	休務（釈尊成道会）	
	10	月	宗務所	責任役員会・臨時所会（職員任期満了）	
	18	火	管 区	東北管区宗議・宗務所役職員連絡協議会（19日迄）	宮城仙台
	23	日	宗務所	休務（年末年始1月10日迄）	
1	16	水	宗務所	休務	
	24	木	管 区	東北管区人権主事連絡協議会	宮城仙台
	29	火	梅 花	評議委員会	
	30	水	宗務所	監査会	
	31	木	教 化	所報第99号発行	
2	1	金	人 権	後継者対策委員会・災害対策委員会	
	5	火	梅 花	養成所初級	
	6	水	教 化	布教委員会	
	7	木	梅 花	養成所上級	
	12	火	教 化	第2回現職研修会（13日迄）	ホテルニュー水戸屋
	15	金	宗務所	休務（釈尊涅槃会）	
	18	月	宗務所	所会運営委員会	
	20	水	梅 花	特別講習会（前泊）	ホテルニュー水戸屋
	21	木	梅 花	特別講習会（22日迄）	ホテルニュー水戸屋
	26	火	梅 花	師範研修所	
	28	水	管 区	東北管区所長会	宮城仙台
3	1	金	宗務所	教区長会	
	4	月	梅 花	養成所初級	
	6	水	梅 花	養成所上級	
	13	水	宗務所	責任役員会・定例（予算）所会	
	18	月	宗務所	休務（春彼岸24日迄）	
	25	月	教 化	教化指導員会	
	26	火	梅 花	講報委員会	

宮城県村田町のグリーンパール納豆本舗の職人達がつくるこだわり納豆は、一九四七年の発売以来、日本一受賞をはじめ、数々の受賞歴があり、今年の第二十三回全国納豆鑑評会では、全国で二番目においしい納豆品質として優秀賞を受賞し、三年連続の全国受賞という快挙を成し遂げました。手間を惜しまない手作りの味は、全国の方々に愛され続けており、東日本大震災による甚大な被害も乗り越え、ここ数年は国内ばかりではなく、海外からも注文があり、その販路の拡大にも力を入れている三代目大沼賢治社長にお話を伺いました。

「人間の体をつくる原料は食べ物。今、食べたものであなたの体はつくられる。いい食べ物を食べれば、いい体がつくられ、いい脳がつくられ、そしていい心が生み出される。」私の座右の銘の一つですが、発酵食品NATOには驚きのパワーがあることを御存知でしょうか。特に重要な効用を御紹介致します（詳細は紙面の関係上割愛させて頂きます。）一、脳梗塞、心筋梗塞予防に血栓溶解酵素ナットーキナーゼが豊富（夜に食べると血管を強めます。）二、アンチエイジング物質ポリアミンが豊富で血管を強くする。三、他の食物では摂りにくいビタミンK2豊富で骨粗鬆症予防。四、コルチゾールホルモンを増加させ中性脂肪、体脂肪を低下させダイエット効果。五、必須アミノ

酸アルギニン、レシチンが豊富で体力増強効果。当店の納豆は全て残留農薬が検出されず、しかも非遺伝子組換え一〇〇%の安全安心の最良品質の大豆を使用し、添付の味つゆも化学添加物無使用にこだわっております。納豆自体が自然食品で



人物随聞記 (15)

第五教区 松山寺檀徒

グリーンパール納豆

代表取締役

大沼 永太郎さん

も、それに使うたれが化学添加物だらけでは健康食になりません。食事もまた行のひとつとして重要と考えております。さて何故に私が納豆に全てを捧げる決意をしたかをお話させて頂くと、これまで大きな転機が二度ありました。一度目は、学生時代より少林寺拳という武道を極めようと、切磋琢磨していた親友がALSという難病を発症し五年後に旅立った事です。その友が死を受け入れた時に教えてくれた一言でした。「私達

は生きていけるのではない、生かされている。どんな人でも必要だから生かされている。だから生かされている事に感謝して生きていかなければならない。大沼には人を幸せにできる納豆を作り続けていく事、その事に生かされている意味がある。」この言葉でハッとさせられました。二度目は、東日本大震災です。甚大な被害で復活は不可能ではないか、と悩み続けていた折、全国から熱い励ましのお手紙、メールを頂きました。中には、

「最後の一個を食べ終え、緑の袋を見ていると家族全員で涙が出てきました。頑張り過ぎずゆっくりでもいいですから必ず復活して下さい。いつまでも待っています。」読んでいて胸が熱くなり恥しくも思えました。その時



以来、明らかに私の納豆作りの意識が変わったのです。「幸せにできる感謝の納豆」を作り続ける、と。

納豆は精進料理であり、語源の由来には、お寺の納所（台所）で作られていたから「納豆」との説が有力です。（平安時代の新猿楽記に記載）

最後に、最近読んだ本から「百歳まで生きる人に共通する十のルール（世界の統計データから）」を御紹介します。一、豆類をたくさん食べる。二、野菜はたっぷり一日三五〇g無農薬で。三、坂道を歩く。四、死ぬまで働く。五、生きがいを持つ。六、徹底的な健康チェックで早期発見、早期治療。七、食べ過ぎない（腹七分目）。八、アルコールをたしなむ。九、チョコレートを食べる（力力才成分七十%以上、一日に二十五g）。十、医者を選ぶ（医者はピンキリ）。

如何でしょうか。私もこのルールを守りながら「NATO」を世界ブランドにし、世界中の人々を幸せにできる納豆を目指して残りの人生を懸けてみようと思えます。 合掌

参考文献

- ダイヤモンド社
- 医学博士牧田善二著 「医者が教える食事術 最強の教科書」
- 二十万人を診てわかった 医学的に正しい食べ方」

おすすめの本

第十七教区

能持寺 住職 佐藤 孝良

道元と曹洞宗

発行/洋泉社



この本は、今年三月に発行された解説本シリーズ「洋泉社ムック」の一つです。

イラストが多いためスラスラ読めますが、高祖様と宗門について簡略に解説されています。

百頁程度ながら内容は多岐にわたり、三代争論や兩本山成立の背景など、コアな部分も記述があります。また、執筆者が在俗のためか、解釈が独特なところもありますが、在家向け市販本としては、かなり高レベルだと思えます。

弟子や檀家さんから質問される前に、是非一読ください。他に浄土真宗と真言宗の本もあります。そちらもごついで。

第十八教区

瑞満寺 住職 松好 大幹

ミソつけて焼いて食うぞ

〜いじめられたよ〜

小野寺ヨシ子著

自費出版



「ミソつけて焼いて食うぞ」は岩手県一関市で子どもなど相手からかかったり、バカにする時に使う言葉だそうです（諸説あり）。

この話は、作者が子ども頃に実際にいじめられた体験をもとに書かれた絵本です。作者は今の時代にいじめによる様々な問題に苦しんでいる人々がいる事に胸を痛め、この世からいじめを無くす事が出来たらと、この本を執筆・出版なさったそうです。実際、この絵本の話の様にいじめのない事でいじめや差別に遭う事の理不尽さを感じる事も少なくないと思われまふ。この絵本が多くの人に読まれ、大勢の子ども達に読み聞かせることができたならと思ひ、紹介させて頂いた次第です。



第十八教区

洞泉院沿革

普門山 洞泉院住職 西村 大眞

洞泉院は普門山洞泉院と称し、本尊は釈迦牟尼如来である。

慶長九年（一六〇四年）伊達政宗公五男宗綱公が二歳で岩ヶ崎城主となった際、伊達三傑と言われる茂庭綱元が守役として栗原市岩ヶ崎に住いました。

宗綱公が十六歳にて病にて死去されると、綱元は高野山に登り三年にわたり冥福を祈り、その後仙台台にて仙台藩家老として重臣の責を果たした。

綱元はその器量を高く評価され、豊臣秀吉からその実力をかわれて家臣になるよう誘われたが、誘いを断り終生政宗に忠義をつくしました。

秀吉の命により庭に鬼がいるのは縁起が悪いとの理由で、氏を鬼庭から茂庭に改め、碁の勝負で秀吉に勝利し、「香の前」を賜りました。

表紙写真説明

寛永十三年（一六三六年）

伊達政宗公が死去された後隠居地である門地村（現在の栗原市文字）に住いし、廃絶していた古仙院を再興し洞泉院とした。

自らは名を了庵と号し、政宗公と宗綱公の冥福を祈る為、政宗公の為に阿弥陀堂を宗綱公の為に妙覚堂を建て毎日供養し、寛永十七年（一六四〇年）政宗公の命日と同じ五月二十四日九十一歳で死去した。自ら造ったと言われる両手を合わせた坐禅体の石仏が墓の上に建っている。

石仏は仙台市を見守るかのようにな向きで建てられている。石造は栗原市の有形文化財に指定されており、洞泉院の櫻造りの「須弥壇」「前机」極彩色の「格天井」も往時を偲ぶ貴重なものとして栗原市有形文化財に指定されている。

新命住職

第七教区	173番
法圓寺	根來 賢晴師 30・3・27
第三教区	51番
心月寺	朴沢 光紀師 30・3・27
第四教区	107番
慶藏院	佐藤 泰徳師 30・6・1
第五教区	124番
徳成寺	大川原啓介師 30・6・1
第九教区	251番
法圓寺	高橋 宣秀師 30・6・1

結制修行

(一層の弁道精進を祈ります)

第四教区	99番 鷹硯寺
(平成30 夏・中・初会)	
法幢師	池田 宏道師
首座	田村 崇顕兄

遷化

(謹んで弔意を表します)

第二十一教区	60番
柳澤寺東堂	川合 玉仙師 84歳
	30・1・9

第二教区

瑞雲寺東堂	志水 賢雄師 92歳
9番	30・1・10
第十一教区	284番
西雲寺東堂	米谷 慶記師 93歳
29番	29・12・14
第四教区	100番
東岩寺住職	田村 正弘師 92歳
107番	29・8・27
第四教区	107番
慶藏院住職	佐藤 恭雄師 89歳
325番	30・3・17
第十二教区	325番
梅林寺住職	佐々木高悟師 88歳
180番	30・4・18
第七教区	180番
智光院住職	佐藤 徳芳師 80歳

逝去

(謹んで弔意を表します)

第十教区	246番
石雲寺寺族	宮本 輝子様 83歳
29番	29・11・3
第八教区	192番
大祥寺寺族	谷津江つ子様 97歳
30番	30・3・7
第四教区	106番
紹樂寺寺族	佐藤たみ子様 73歳
30番	30・1・12
第十二教区	323番
洞泉寺寺族	鈴木 リノ様 74歳
29番	29・11・8
第十八教区	465番
松岩寺寺族	佐藤 光様 97歳
30番	30・5・2

表彰者

瑞宝双光章叙勲	瑞雲寺 村上 健龍師
法務大臣表彰	宗禪寺 岩井 秀弘師
	長徳寺 小林 廣道師
	福蔵寺 留守 広行師
住職勤続六十五年表彰	玄松院 三浦 正明師
住職勤続六十年表彰	寶泉寺 我孫子元宗師
	東光寺 武者 宥道師
住職勤続五十年表彰	慶藏院 佐藤 恭雄師
	瀧澤寺 太田 義文師
住職勤続四十年表彰	昌林寺 松山 宏佑師
	富光寺 木村 邦道師
	天性寺 渡邊 了英師
	光巖寺 千田 豊穂師
	満昌寺 松岡 秀明師
住職勤続三十年表彰	皎善寺 工藤 浩秀師
	祥雲寺 矢口 好文師
	起雲寺 菅原 文悦師
	興禪院 千田 泰道師
	龍角寺 赤間 直道師

編集後記

去る6月18日朝、阪神北部に最大震度6弱の地震が発生。ブロック塀倒壊により亡くなられた小学生始め犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りいたします、又、被災なされた皆様にお見舞い申し上げます。

本県に於いても近年、宮城県沖地震、宮城県北部地震、そして東日本大震災と度重なる災害に見舞われております。

このような痛ましい災害が起こらない事を祈るばかりです。しかしながら自然災害は避けられません、より一層防災の重要性について考えるべきかと感じます。

宗務所長名の檀信徒用感謝状、弔辞を準備しております。

お問い合わせください。